

認知症高齢者の見守りサービス事業について

市では、認知症の高齢者を自宅で介護している人の不安・負担軽減のために2つの事業を行っています。

- 対象者** 市内在住で、認知症などにより所在不明になる可能性がある高齢者などを介護する家族など
- 自己負担** なし
※GPSを収納するシューズを購入する場合、代金（9680円）の半額を負担（半額は市が助成します）
- 申請方法** ◇窓口◇オンライン◇郵送
※申請書は申込先で配布、または市ホームページよりダウンロード



ここだよまどか（高齢者等搜索位置検索）事業

- 内容** GPS機器（写真1）を無料で貸与し、専用のスマホアプリでいつでも家族などの介護者が位置情報や移動履歴を確認できます。
- 特長** GPSは持ち歩きしやすい小型サイズで、専用の介護用シューズ（写真2）のかかとの部分に収納することもできます。



(写真1)
GPSサイズ：45×45×10 (mm)



(写真2)

みつけてまどか（高齢者搜索身元確認）事業

- 内容** 衣服や持ち物に貼り付ける二次元コード付きシールを配布します。所在不明時に発見者が二次元コードを読み取ると、家族などの介護者と、個人情報を知られることなく、伝言板上で直接やり取りができます。
- 特長** 二次元コードを読み取られると即座に介護者に通知され、専用の伝言板は24時間利用可能です。



このシールを付けたお困りの様子の人を発見したら、二次元コードの読み込みと保護に協力してください。

このバーコードを読み込むと、事業の流れを動画で確認できます

- 申し込みと問い合わせ先** すこやか長寿課 長寿支援担当 ☎(580)1859

健康栄養教室 フレイル予防・改善編

フレイルとは、栄養不足・運動不足・社会性の低下により、要介護の危険性が高まった状態のことです。「シニア世代の食生活のポイント」を知ることによって、フレイルは予防・改善できる可能性があります。

元気に楽しく、自分らしく過ごすためのポイントを、保健師と管理栄養士が話します。



- 日時** 5月22日(木) 午前10時～正午
- 会場** すこやか交流プラザ
- 内容** ◇低栄養やフレイルを予防・改善する食生活に関する講話◇レシピの紹介◇簡単調理の実演
- 定員** 24人（申込多数の場合は新規優先のうえ抽選）
- 申込方法** ◇電話◇窓口◇はがき（「健康栄養教室申し込み」・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を記入）
- 申込期限** 5月14日(水)（必着）
- 申し込みと問い合わせ先**
健康課健康長寿担当 [〒816-0932 瓦田4-2-1 すこやか交流プラザ内]
☎(501)2222